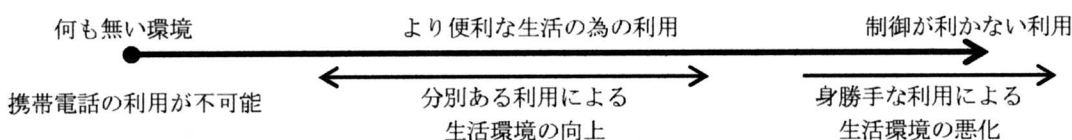




子どもとケータイの問題点 — 便利の先にある危険を知ろう！

私たちは携帯電話を大変便利な道具だと感じていると思います。しかし、それは大人だから言えることであって、子どもにも無条件に「便利なツール」として与えるのは間違いです。そもそも大人は子ども時代の経験を元に常識を持っていますので、常識はずれの事は自ら制御する力があります。ですから、便利なツールも利用の限界を見極める事ができます。しかし、子どもは人生経験が浅く、大人と違って常識がまだ十分に備わっていません。ですから、自分にとって都合の良いツールを手にとると、際限なく利用してしまうのです。

子どもにとってのケータイ利用の問題点は、成長期の多感な時期に、あまりにも多くの刺激や甘えを与えてしまい、自分では制御が利かない利用をしてしまう可能性があることだと言えます。本人にとっては心地の良い利用方法も、大人の目からすると誤った利用（又は幼稚な利用）に見える事は多々あります。便利とは時に人を甘やかしてしまう作用があるので、注意が必要です。



これからの子ども達に発生しやすい新たなケータイ問題

■ 自由すぎる通信環境が、ワガママ度を加速させる

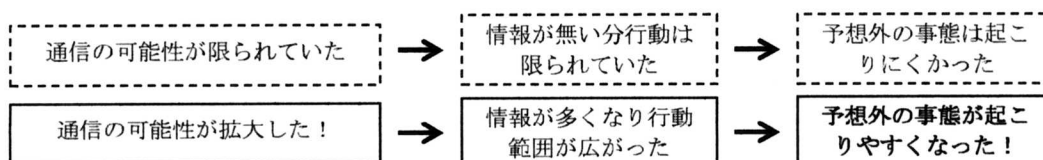
ケータイは従来のどのメディアとも異なる、強力な情報通信メディアです。私たちがケータイを便利なツールと考える理由は、ケータイさえあれば自分の知りたい事や伝えたい事が、時間や場所や相手に関係なく、直接伝達しあえるからです。しかし、それは言い換えれば、自分の好きな人とだけの閉塞的なコミュニケーション環境を作ることでもあります。約束や集団行動から学ぶ社会性や精神的成長も、ケータイを持てば必要なくなる部分が増えます。すると、その分社会性の欠如が問題になるのです。

■ ケータイが子ども達に不要な常識を作ってしまう

本来あらゆる道具は必要性があって使われるものです。しかし、ケータイの場合、多くの子ども達はケータイに使われる状態に陥ります。ケータイは無くても問題ないが、あると気になる事が増えてしまい、かえって生活が不安定になりやすくなるのです。例えば、友人同士の「つながりあい」の確認や、うわさ話などの情報が拡散される不安、不必要だった情報への接触、自力解決できるはずの問題も努力せずケータイで解決する、などの行為が見られます。これらの行為が習慣化されると、子ども達には身につけて欲しくない「望まれない常識」が形成される恐れが高くなります。

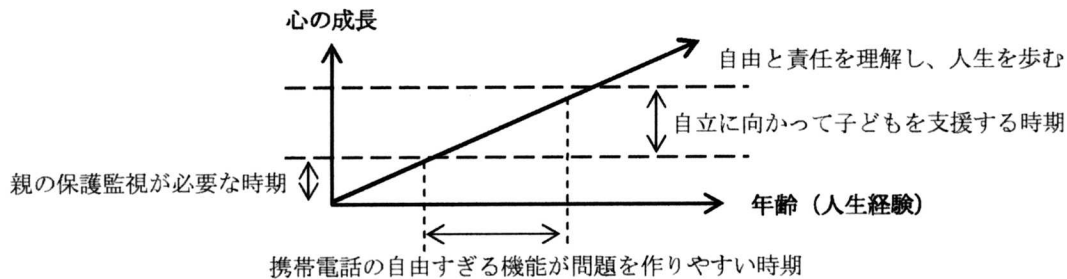
子どもとケータイ、どのように考えたらいいのでしょうか？

手紙や固定電話、テレビなどが情報伝達の主流だった 20 世紀に比べ、21 世紀は利用者個人が望むことは本人が責任を持って個々に情報伝達しあう、全く新しい情報伝達方法が主流になります。自由な情報伝達は大変魅力的ですが、自制や責任なき自由は勝手に摩り替わってしまいます。ケータイ利用問題を考える時は、まず本人が自由をどこまで理解し、責任を自覚しているか判断する必要があります。自由度が高くなる生活を具体的に意識し、本人の成長と共に「責任・自制・判断」能力を求めましょう。



「制限と保護」から「自由と責任」への段階的移行が重要です！

携帯電話は大変便利なツールです。それは、だれでも自分ひとりで自由にさまざまな行動を起すチャンスを作れるからです。しかし自由には責任が伴います。責任なき自由は「勝手」となります。しかし責任の意味や自由の理解が十分ではない人生の初心者である子どもにとって、あまりにも自由な環境はかえって自分を見失いやすくなります。そうならないよう、子育てには適度な制限が必要なのです。



インターネット = 知的なネットワーク + 快樂のネットワーク

インターネットは人々に必要な情報をすばやく提供してくれる情報ネットワークです。良い言い方をすれば「人々が多くの知識を得る機会に恵まれ、人生の選択肢を増やせる自由な社会が実現する」と考えられます。しかし、悪い言い方をすれば「社会に不要な情報や人を墮落させたり、余計なトラブルが増える社会が実現する」ともいえるのです。

結局の所、インターネットをどのように使うのか、利用目的を明確にする事が大事なのです。知識を蓄え、自分の生活を向上させる為の情報ネットワークを「知的なネットワーク」と呼びます。逆にその場の快樂に浸り将来を見ない刹那的な情報を運んでくれる情報ネットワークを「快樂のネットワーク」と呼びます。どちらの情報ネットワークを使うかは、利用者本人の判断になるのです。

自分の成長を支えてくれる人たちとのつながり、知的な好奇心を高める情報



低俗な欲求に満ちた快樂情報の追求



自分の足を引っ張る人たちとのつながり、快樂や学習性の乏しい情報

子どものケータイ問題は情報公害だった？—問題はこれからが本番です！

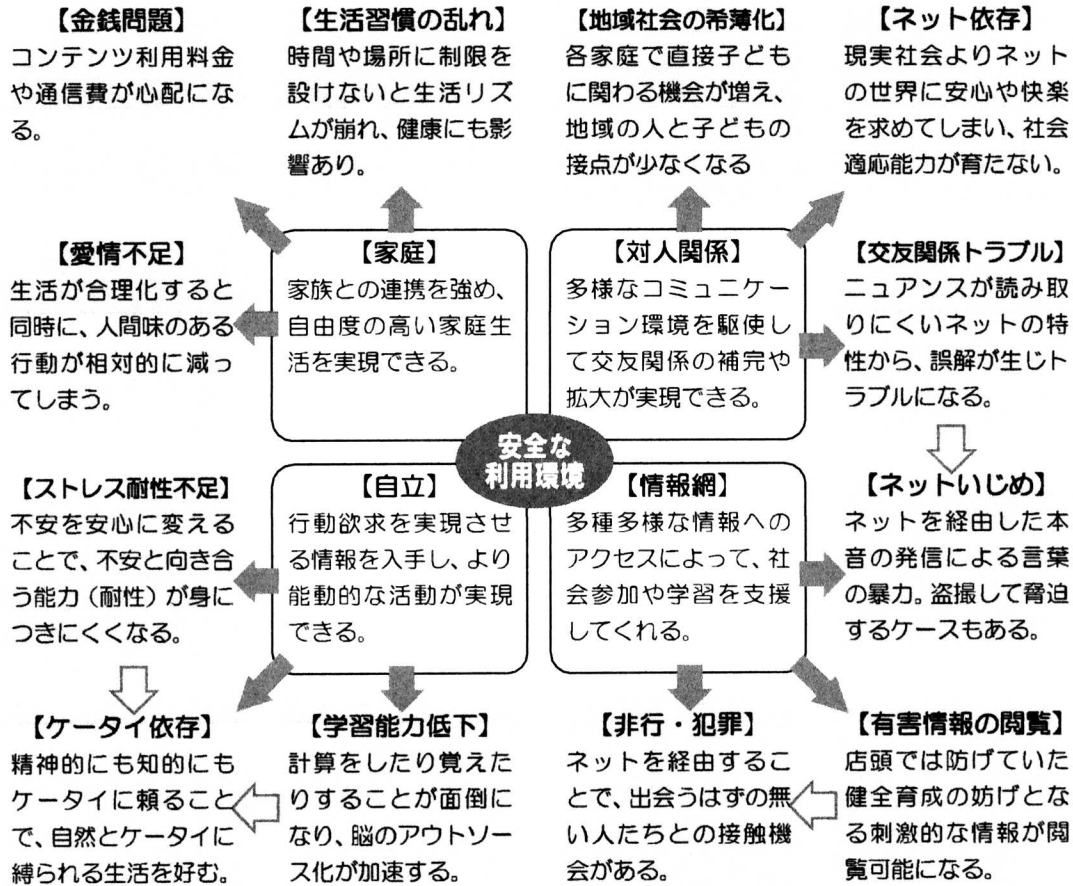
スマートフォンの登場により、快適すぎる生活環境が子ども達の成長を脅かし始めます。あまりにも情報量が多く誘惑に流されケータイに夢中になる子ども達が急増します。また、コンビニエンスな情報端末は、思考や記憶といった脳の活動を省略し、学習のプロセスよりも結果（解答）を求める単純思考を習慣化させる可能性も否定できません。高い能力を有した志のある人物が使えば、確かにスマートフォンは大変魅力的なツールになります。しかし、高度な思考力や創造力、高い志を学ぶ段階にある子ども達には、あまりにも早すぎる「便利ツール」でもあるのです。

かつて便利な社会を夢見て工業を発展させた結果、健康被害をもたらす公害問題が起こりました。現在は、情報通信技術の発展による快樂情報の蔓延や苦勞を避ける生活の実現によって、精神を汚染してしまう公害がひそかに起こっているのではないのでしょうか。

＜参考資料＞

子どものスマートフォン利用を制限するアプリ制限ソフト「まもるぞう」（アンドロイド端末対応）設定することで、端末の利用時間制限、利用可能アプリの設定、通信相手の制限などが可能です。詳しくはウェブで検索してください。

子どもとケータイ・リスクマップ



行き過ぎた便利が危険になる事をイメージしながら、問題を具体的に考えてみましょう。

■ 情報通信網の整備による不必要な情報の拡散

成人向け情報や危険な人物との直接的な接触機会、暴力的な情報発信に対する社会的防壁の無いネットワークによるいじめ問題などが発生しています。いままで情報は間接的に伝わっていたので、成人向け書籍の購入には店員の判断があり、危険な人との接触には地域の日や地理的な情報遮断があり、言葉の暴力は直接本人には伝わらなかったのです。

■ 対人関係は過密と過疎の両極端に！

好きな人とはいつでもつながる一方、不要な人とは全くつながらなくても良い生活が可能になりました。人間関係の距離感は常に変化するものですが、機械的な通信となるケータイを中心に対人関係を作ると、コミュニケーションの逃げ場を失い、つながり過ぎるストレスが生まれます。また地域の人とは連絡をとる機会がなくなり、疎遠になると同時に地域社会が崩壊する傾向が高まります。

■ 家族の絆が見直される時代へ

一人一人が自分の好きなコミュニケーションを実現できる社会では、極端な個人主義が幅を利かすようになります。家族もまた、経済的要因や生理的要因など合理的な理由で家庭運営されるようになると、愛情や思いやり、信頼関係など心のつながりが疎遠になりがちです。

■ 遅れる「自立」と「自律」

困った時はいつでもケータイが解決してくれる便利な時代、人は記憶を記録にたよりに、思考を検索に頼り、不安を安心に置き換えるようになります。何不自由無い生活がやがて自力解決の意欲を空しくさせてしまうのです。

科学技術は効率化や合理化を促進する傾向がありますが、子どもの成長や人間社会には、状況によって非効率なこともきわめて重要な要素である事を再確認する必要があります。20世紀は不便な時代に対抗しようと技術力を高めましたが、21世紀は便利に対抗するための精神力を高める時代となるでしょう。

インターネットの不思議なさ

LogicalKit
ロジカルキット

問題1

あやしそうな人はだれ？

中1です。
サッカーが
とくいだよ



小6女子です。
AKDの
ファンです



小6です。
いっしょに
あそぼ!



インターネットは別世界!

インターネットはとても多くの人や情報を知る事ができる分、考えなくてはいけない事がたくさんあります！
自転車を乗るのに交通安全を考えるように、これからはインターネットの安全についても考えなければいけません。

左の絵を見て、あやしそうな人を一人選んでみましょう。

みなさんはきっとそれぞれの顔を見てどんな人が考えているのではありませんか？

問題2

あやしそうな人はだれ？

試しに今度は右の絵を見てください。顔がみえないじゃないか、あやしそうな人を選んでみようとしても、判断ができません。顔が見えないと、相手が誰なのかわかりません。

こんにちは!



はじめまして!



よろしくお!



問題3

あやしそうな人はだれ？

始めまして！小学生で仲良くなれそうな人、なかよくなろうよ!

①

ハロ～ひまな人いますか？いっしょに遊ぼうよ。

②

雑誌のモデルやってみませんか？仲良くありませんか？

③

こんどはどうでしょう？なんとなくあやしそうな人と、まじめそうな人の区別がつくような気持ちになりませんか？でも実はそれらが落とし穴！本当は相手の事を知ったつもりになっているだけですよ。

事件の始まりは

カンキイから!



へえ～。でも顔が見えないと相手が誰だかわからないよお。友達っていつでも、大丈夫なの？

困った事があつたら連絡ください!

合同会社ロジカルキット

info@logicalkit.com 担当 下田

問題4

インターネットを使った事件はどのようにして起きるのでしょうか？

最近インターネットで新しい友達つかったんだ。



まったく、ようじん深いんだお。大丈夫だよ。同じ学年だし、話も合うし、けっこう良い人だよ。



あ！ウワサをすれば「Xル友」からだよぞい！私の好きなアーティストが来るんだって！絶対行きた～い。Xル友といっしょなら安全だよ。



AKDが来るなんてウソだった～。待ち合わせ場所に怖そうな人がきて危なかった～。友達だと信じていたのに、どうも私の思い込みだったよ。



だから言ったのに！文字だけで相手がどんな人かなんて、勝手にきめつけちゃいけないよ!



多くの人と知り合えるインターネットだけれど、文字だけでは心の通ったコミュニケーションはあつかいなんだ。だからメールや掲示板やチャットより、会話をしたり、遠くにいたらせめて電話をする事が大事なんだよ。

